失敗してしまったら

アップデートの際に予期される不具合とその対処法

DVD-RWドライブのアップデート時に、お客様の環境によっては失敗する可能性があります。 以下のような条件にて、アップデート失敗の可能性があることが弊社にて確認されております。

IntelのUltra ATA Storage Driverをインストールして使用されている場合
IntelのApplication Acceleratorをインストールして使用されている場合
常駐しているソフトがある場合
RAID構成の場合
他の周辺機器とつないでいる場合

原因

1) 2) について

上記Intel社のデバイスドライバがインストールされた場合に、ATAPIデバイスにコマンドを出すAPIがMicrosoft社のデフォルトのドライバ群と多少異なる動作をするためです。 この場合は、上記Intel社のデバイスドライバをアンインストールして再度アップデートを行なってください。アンインストールの方法については、Intel社へお問合せ下さい。

3) について

アップデート時に常駐ソフトが干渉している可能性がありますので、常駐ソフトを停止して、再度アップデートを行ってください。

4) について

RAID構成による影響が考えられますので、単一のHDD構成にして、再度アップデートを行ってください。

5) について

他の周辺機器からの影響が考えられますので、パソコンを最小構成にして、再度アップデートを行ってください。

これらの方法で対処が不可能な場合は、他のパソコンでのアップデートをお勧めいたします。また、ご希望の方には修理センターでの有償受付もございます。

<u>アップデート失敗時の症状とその処置について</u>

アップデートの最後にバージョン表示がアップデートしたファームウェアのバージョン(正常終了)にならず、0000や0001となってしまった場合(失敗終了)、 ダイアログボックスが現れ再度アップデートを実行するかの確認を求めます。

このときに、「はい(Y)」のボタンをクリックしていただき、アップデートを再度行って下さい。



■上記のメッセージボックスが現れた際に「いいえ」のボタンを選択した場合

①ー旦プログラムを終了してしまってもWindowsの再起動さえしなければ、そのままでアップデートを再試行できます。この場合はもう一度、 ご使用ドライブの最新ファームウェアのアップデートを実行して下さい。アップデートの再実行が行われます。

②「いいえ」のボタンを選択した後に、Windowsを再起動してしまった場合には、以下の手順で再度アップデートを実行することができます。

「手順1
、 マップデートに生敗したドライブのリアパネルにあるジャンパーたらい(Slave)の位置に挿して、他のIDEデバイスをMasterにして同一ケーブルトに接続します
ノッノノードに大敗したドノイノのリノハイルにめるノインハーをSL(Slave)の位直に伸して、他のIDEノハイスをMasterにして同一ソーノルエに接続しより。
補足: Primary IDEのHDDのSlaveや他にCD-RWドライブ、DVD-ROMドライブ等をお持ちの場合にはそれらをMasterに設定し、それと同一ケーブル上にDVD-RWドライブを接続します。
ご注意・ハードディスクドライブの中には、Slaveにドライブを接続する場合にジャンパー設定を変更する必要のある機種が存在します。
詳しくはハードディスクドライフの説明書、もしくはウェフサイトなどでハードティスクメーカー様から提供される情報をご参照ください。
手順2
この状態でWindowsを起動して冉度、ご使用ドライフの最新ファームウェアのアップデートを実行してください。

■Windows98の場合は以下の方法でも可能です

①Windowsの起動時にCTRLキーもしくはF8キーを押してメニューを表示させ、その中から"Command prompt only"を選択してMS-DOSモードで起動します。

②アップデートに失敗した場合でも、アップデートに必要なファイルはアップデートの際に指定された解凍先のディレクトリに残っています。

例)

- ・ DVR105_FW133BJ. EXEを実行した場合 → C:¥DVRA05¥FW133B
- ・ DVR106_FW107J. EXEを実行した場合 → C:¥DVRA06D¥FW107

以下のようにコマンドプロンプトから入力して、そのディレクトリヘカレントディレクトリを移動し、UPGDVD.EXEを実行することでアップデートが可能です。 (]] はENTERキーを示しています。)

